



円弧形のフロアを中心に据え、色彩も含めて免疫細胞をイメージした外観デザインに包まれた、唯一無二の研究施設となります。建物内部には、研究者や技術者が集中して作業できるクローズドな空間と、研究者間の自由で活発な交流を促すオープンスペースを配するなど、機能的な配慮が散りばめられたユニークな研究施設です。

がん免疫総合研究センター



◀ 棟内に設けられた展示室。
がん免疫研究の歴史を概観できる。見学可能。

西部会館ルネ・キャリア&トラベル (外線) 771-6289 (内線) 7639	吉田ショップ 752-1587 7632	北部購買 753-7633 7633	南部生協会館 752-1586 7635	時計台生協ショップ 753-7630 7630	宇治生協会館 0774-38-4388 17-4388	桂ショップ 383-7300 15-7300
ブックセンタールネ 771-7336 7631	洋書 751-6183 7631	PCセンタールネ 753-7636 7636	コンベンション サービスセンター 753-7655 7655			

枕崎台風80年 平和と防災を誓う慰霊の集いに京大生協も参列

枕崎台風から80年を迎え、9月13日に広島県廿日市市で「枕崎台風80年 慰霊の集い」が開催されました。京大関係者約80人が参列し、犠牲者を追悼するとともに平和と防災への誓いを新たにしました。廿日市市の大野陸軍病院は京大の原爆災害総合研究調査班の活動拠点でしたが、1945年9月17日の枕崎台風で土石流に襲われ、156人が犠牲になり、その中には京大調査班関係者11人も含まれていました。犠牲者の一人・花谷暉一さん（当時24歳）の遺族が学生厚生施設「花谷会館」を京大に寄贈し、同館に慰霊碑が建立され記憶をつなぐ場となっていました。その縁もあって、過去の節目と同様に、今回も、京大生協の学生委員長・理事長・副理事長・専務理事・常務理事らも現地を訪れ、慰霊の集いに参列しました。

このあと、学生委員長（医学部所属）の参加レポートと当日の様子、続いて花谷会館の由来を過去の記事も交えながら紹介します。



参加レポート



京都大学医学部2回生
2025年度 学生委員長
宇佐美 直輝

これまで私は中学・高校を通じて、広島・長崎の原爆や沖縄戦に関する平和学習に取り組んできました。しかし、京大原爆災害総合研究調査班遭難者については全く知りませんでした。今回の慰霊訪問は、京大生協関係者として、また京大医学部生として、これまでの平和学習とは異なる視点から平和や防災を考える非常に貴重な経験となりました。研究や医療に携わる者が背負う使命の重さを実感せずにはいられませんでした。当日は、京大から参列した唯一の学生だったようですが、この慰霊は私たち学生の世代にも心に刻み続けるべき大切な出来事だと強く感じました。また、自分自身で平和や防災について考えるだけでなく、友人と議論し、共に考えるきっかけにもなりました。今回の経験を通して、過去を学び、それを知識のままにするのではなく、今後の行動に活かしていく姿勢をこれからも大切にしていきたいと思います。

当日の様子



▲ 京大原爆災害調査班遭難記念碑



▲ 右から、金丸副理事長、宇佐美学生委員長、米田理事長、
堀田専務理事、今村常務理事



▲ 京都大学原爆災害総合研究調査班遭難記念碑の由来





花谷会館（旧生協本部）

京大生協本部は2016年まで時計台南東の「花谷会館」にありました。以下の記事は、2003年7月15日号 No.20(98)「教職員情報」からの再掲です。

残しておきたいキャンパス風景

第9回 花谷会館（生協本部）

現在正門の東側入り口角にある京大生協本部（組合員センター）は「花谷会館」と呼ばれています。この建物については以下のような歴史があります。ここで改めて記しておきたいと思います。



1945年（昭和20）8月6日アメリカ軍により広島に新型爆弾が投下された。これを受けて陸軍から京都大学理学部の荒勝教授と医学部の杉山教授に広島の現地調査の依頼があり、両教室では合計10名の調査団を8月9日夜広島に派遣することとなった。調査団は被爆地点での命がけの調査の結果この新型爆弾が原子爆弾であることを判定して大本営に打電、すでに9日にも長崎に爆撃があり、日本政府も12日には原子爆弾による爆撃であることを認め、15日に敗戦となった。

そのあとアメリカを主体とする連合軍の占領が始まろうとする世情不安定ななかで、9月初めから医学部では救援調査団を広島へ派遣することとなった。あわただしいなかで医学部研究者の現地での献身的な研究・治療が軌道に乗り始めた頃、9月12日文科省は学会総動員で「原子爆弾災害調査研究特別委員会」を発足させることとなり、医学部の菊池教授と理学部の荒勝教授が特別委員会への参加を要請された。そして京都大学も全学あげて支援する気運が高まっていった。

理学部の荒勝研究室では爆心地の残留放射能について科学的に検討し、広島の復興に役立てるため医学部に合流するかたちで調査隊を派遣することとなり、6名の調査団を第3次調査隊として9月15日広島に送り出すこととなった。6名は16日激しい雨の中広島に到着、医学部の人たちと合流し早速17日から仕事を始めたのである。ところが理学部の6名を迎えた雨は戦後史に残る大災害を引き起こした枕崎台風によるものであった。鹿児島県枕崎に上陸した台風は17日夜原爆の被害からまだ立ち直っていない広島を襲い広島県下で2,600名もの犠牲者を出すことになったのである。そして京大の調査隊も、研究し宿泊していた大野の病院が台風による山津波で海まで押し流され全滅し、そのなかで前日着いたばかりの理学部の研究者3名と医学部研究者8名が命を落とされたのである。京都大学では10月11日時計台大講堂において「殉難者大学葬」を挙行し11名の方々の業績を称え冥福を祈った。このときの理学部調査団の犠牲者3名のなかの一人が大学院学生の「花谷暉一」さんで、まだ24歳の若さであった。この死を悼みご遺族の兄花谷正明さんが京都大学へ学生の福利厚生のための施設として寄贈されたのがこの「花谷会館」である。学生協同組合から京大生協設立とともに京大生協が引き継いで、当初は「花谷喫茶」として運用していたが、1960年以降生協本部として活用、様々な歴史を刻み込んで現在に至っている。50数年の風雪に耐えた建物は古くなって傷みも激しくなっているが、ご遺族の思いを無にしないよう大切に保存してゆかねばなりません。

花谷会館の一室には花谷さんの遺影と花谷会館由来の一文が掲げられている。

なお、被害の地広島県大野町には11名の方の慰霊の記念碑が建立され、慰霊の集いが5年に一度催されており京大生協も毎回参拝している。（毎年は自由参拝とされている。）

以上の文は「医師たちのヒロシマ」核戦争防止・核兵器廃絶を訴える京都医師の会編機関誌共同出版を参考にして作成しました。またこの枕崎台風を取り上げたルポルタージュに柳田邦夫氏の「空白の天気図」新潮社がありますが絶版となっています。



2025PCカンファレンス参加報告

京都大学生協同組合 PC センタールネ店長 西川彩

概要

- 日時：2025年8月21日(木)12:00～8月23日(土)15:55
- 場所：鹿児島大学 郡元キャンパス
- 開催テーマ：教育・学習における常識の革命

基調報告

- テーマ：データとAIが導く学びの未来：ミクロな分析からマクロな学習変革へ
- 登壇者：島田敬士先生 九州大学 システム情報科学研究院 情報知能工学部門 教授 / ラーニングアナリティクスセンター長
- 報告概要：学習分析(ラーニングアナリティクス)を軸に、ミクロ(個人レベルの学習活動)とマクロ(組織や長期間にわたる学習支援)の視点での活用事例紹介。
ミクロの視点では、AIを活用して、学生個人の学習状況や学習活動の可視化を行い、他者の学習の動きを共有することで自身の学習に気づきを促している。
マクロの視点では、講義によってシラバスの内容に差があるので、生成AIを活用し、分析を行い、学習者目線で、講義と講義のつながりを可視化することが出来る。また、学部によって、似たような講義が開催されていないかのチェックにも活用できる。
ミクロ×マクロで、学生の学習支援を行うことで、学生自身も4年ないしは6年の学びを計画的に進めることができる。

PCカンファレンスとは・・・

- コンピュータを利用した教育に携わる人(研究者、小中高の教員、企業人、学生など)たちが、立場や分野を超えて学びについて本気で語り合う場所です。
- CIEC(コンピュータ利用教育学会)と全国大学生協同組合連合会が共同で開催しています。

シンポジウム

- テーマ：学びの変革と支援の可視化から何が見えてくるか？
- 報告概要：基調報告をされた島田先生を含む、4名のパネリストの方が登壇された。
司会の方から「生成AIを本当に使い続けて良いのか」「人間にとっての学力とは？」など様々な問いかけが行われ、4名のパネリストが意見を交わされていた。

参加者の感想

今回、初めてPCカンファレンスに参加しました。議論の中心はやはりAIで、その導入は教育の必然であって、学習者に寄り添う仕組みを構築することが急務だと強く感じました。教育が大きく変わる今、大学生協もまた学習支援の在り方を変革していくことが期待されます。

国際高等教育院 金丸敏幸

生成AIが大学教育などの現場で幅広く、かつ、有効に利用されていることを知った。これまで教育には利用していなかったもので、今後の利用を検討したい。一方、高校生の発表も多数あり、研究意欲の強さ、および、研究発表の上手さに感銘を受けた。

京都大学 化学研究所 阿久津達也

初参加でしたが3日間参加させていただき有意義でした。会期全体を通して生成AIの先進活用や懸念など様々な観点からの議論が行われ大変参考になりました。また高校の情報I/IIに関する議論もあり、まだまだ課題があることが確認できました。

京都大学 情報環境機構 中村素典

九大 島田先生のお話を聞き、大学での学びをミクロ(学生教員)とマクロ(大学)の視点から生成AIを用いて繋げる活用方法をされているとのことで、生成AIはこんなところにも有効活用できるのかと非常に興味深かった。

京大生協・PCセンタールネ 鶴岡聡

基調講演の中で、学習を効率化させ、学びを発展させることは今までの研究者たちと変わらないが、「教育する側」いわゆる教員への情報共有に比重を大きくしている点に、別方向からの視点で新しい研究がなされていると感じた。

京大生協・PCセンタールネ 小国幸子

全体を通して、生成AIが高等教育で活用されることが当たり前のように進んでいると感じ、非常に興味深かった。学生の勉学支援をする上で、生成AIとどのように付き合っていくのか、学生が上手に生成AIを活用するためにどんな支援が出来るのか考える必要があると感じました。

京大生協・PCセンタールネ 西川彩

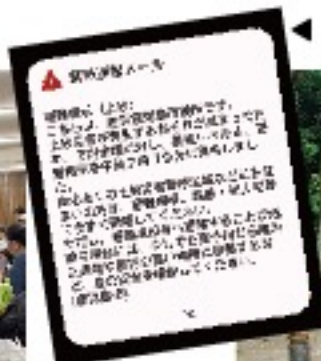
当日の様子



▲ 会場看板



▲ 基調講演会場の様子



◀ 基調講演中に鳴り響いた緊急速報メール



▲ 台風後のキャンパスの様子

オープンキャンパス2025に京都大学生協も参加いたしました

2025年8月7日(木)8日(金)に開催された「京都大学オープンキャンパス2025」に、暑い中多くの方が来校されました。生協も各所で企画を実施し、来校された皆さんをお迎えいたしました。

1 資料配布

オープンキャンパスにお越しになった皆さんへ、大学発行の「京都大学オープンキャンパス 2025 ガイドマップ」と生協発行の「京大への道」を配布しました。



2 学生委員会企画



今年も大学と生協学生委員会が協力して「時計台企画」と「キャンパスツアー」を実施しました。

時計台企画では、例年立ち見も出るほどの人気企画である模擬講義、サークル紹介等を混乱なく行う事ができました。出入りが自由の企画のため、正確な参加人数は記録

できていませんが、配布パンフレットベースでの参加者は2239組となりました。

今年のキャンパスツアーは、受け入れ人数、コース数ともに増やす事を決め、学生事務局も大学の各部署に見学の受入のお願いに回るなど積極的に新しい取組にチャレンジしました。炎天下の中、大学の施設をめぐる企画のため、熱中症対策をしっかりと講じて、参加予約者372名の内、82.5%の307名が参加してくれました。

3 個別相談ブース

時計台の2階では、大学各部署の相談コーナーに連なって「大学生活の相談ブース」を設けさせていただきました。かなりの遠方からお越しになっている方も多く、質問では、受験宿泊について(2次試験当日の宿泊斡旋)や、住まい探しや周辺環境についてがほとんどでした。遠方からお越しになる、受験生の不安にしっかり寄り添えたのではないのでしょうか。



京都に来れない方へ、各地でミニオープンキャンパスも開催！



お盆明けの週末から、大都市圏でminiオープンキャンパスが開催されました。生協も、京都大学入試企画課さんと一緒に8月17日(日)・18日(月)ポートメッセなごや交流センター、8月30日(土)・31日(日)ビジョンセンター品川で現役学生による相談コーナーや、受験生のサポートの取組を紹介しました。

また、8月23日(土)には関西を代表する7大学が大学の魅力を発信する関西7大学フェスティバルにも参加いたしました。



【着任の挨拶】

- ・なまえ：齋藤 龍輔（さいとう りゅうすけ）
- ・所 属：PC センタールネ 副店長

PC センタールネ 副店長

- ・経 歴
 - 2014 年 4 月 東京大学生協
 - 2018 年 8 月 早稲田大学生協
 - 2020 年 8 月 事業連合 広域 情報システム部 NR-G 開発室
 - 2024 年 4 月 事業連合 UW（関西北陸地区）会員支援部 店舗・商品支援課

5 年ぶりに会員生協へやってきました。

未収金システム（UC-RM）、POS レジ（ユビレジ）などは、導入前に散々テスト打刻を行っていたので、どの大学生協職員よりもユビレジ、stera terminal を早い段階で触っていましたが・・・実際、運用として機器を触るのは初めてで、緊張のためガクガク震えながら対応している日々です。



鷺羽山展望台でのボク（2004年 8月）

実家は京都市右京区で、現在、実家の近くに住んでおり、初のバス通勤をしています。バス乗車中に、小さい画面であるスマートフォンを操作しながら通勤すると…たまに気持ち悪くなります。みなさまもお気を付けください。

今後ともよろしくお願いします。

組合員センター店長
本部理事会室



名 前：武田 成生（たけだ しげき）

役 職：組合員センター店長 / 本部理事会室

経 歴：2019 年 3 月 入協・ショップルネ PC コーナー
2022 年 6 月 時計台ショップ・北部購買・宇治購買
2025 年 6 月 組合員センター店長 / 本部理事会室

【ご挨拶】

購買系店舗で経験を積み、現在は主に共済関係の業務に携わっています。
共済業務は 1 から覚えることも多く、初心者の自分は毎日頭を悩ませています。
ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

Web見積サービス機能拡張リニューアル 【延期いたします!!!】



10月初旬から導入予定だった AmazonBusiness ですが、
生協のシステムとの最終段階において、重大な問題が発生する可能性が
あるため、延期の運びになりました。解消にはしばらくお時間を頂戴する事
になりますので、導入時期は改めてお知らせいたします。

延期!

生協と amazon business 連携開始!

①web見積サービスをご利用の方は新規登録不要!



これまでにWeb見積サービスをお使いの方はWeb見積サービスからamazon businessの商品検索にアクセスすることが出来るようになります。新たな手続き等は不要! 希望の商品を直接購入していただくことが可能になります。

②webから簡単発注!



通常のECサイトと同じような感覚で、商品の検索・発注が可能! 発注した商品は、生協のシステムに自動連携されるので安心してお使いいただけます。

※ 一部、パソコンや通信機器など取扱対象外商品もございます。

③生協店舗から検収を受けてお届け!



発注した商品は、生協店舗に入荷します。入荷後、検収を受けてお届けいたします。煩雑な手続きなどは一切不要! 検収～納品まで生協が行います。

※ セール価は反映されますが、価格は代行手数料を含んだ表示です。

京都大学教職員交流会

告知



京大農酒

試飲会

学生考案のマーケティング戦略を参考に京大生協・招徳酒造・辻村教授が共同開発した、京大らしい強いサステナブル志向の「濃い」お酒です。学生の援農を受け入れながら丹波西山が有機JAS栽培した「京の輝き」を、伏見の名水で醸しました。

日時 2025年
11月末～12月初旬頃
17:30～19:30

場所 北部食堂2階もしくは
カンフオーラにて(予定)

参加費 1,000円
(京大農酒持ち帰り希望の場合は+1,500円)



要予約

詳細決まり次第改めてお知らせいたします。



▲ 京大農酒 ラベル

ORGANIC JUMAI SAKE KYODAI NO SAKE
有機純米酒 京大農酒

学生考案のマーケティング戦略を参考に京大生協・招徳酒造・辻村教授が共同開発した、京大らしい強いサステナブル志向の「濃い」お酒です。学生の援農を受け入れながら丹波西山が有機JAS栽培した「京の輝き」を、伏見の名水で醸しました。

品 目：日本酒
(有機農産物加工酒類)

精米歩合：70% アルコール分：14 度

内容量：720ml

原材料名：米(京都府産)、米麹(京都府産米)

Certified organic by ECOCERT

製造者：招徳酒造株式会社 京都市伏見区舞台町16

- お酒は20歳になってから。
- 妊娠中、授乳期のお酒は控えましょう。



製造年月

4966696967959